

【高等学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立佐賀工業高等学校(定時制)
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 資格等取得するためには、基礎学力も必要になる。授業等を通じて基礎学力の定着を図っていきたい。 給食の喫食率が上がらなかった。今後も喫食率の向上を目指す。また、食育講話を実施し、きちんとした食生活の習慣を身に付けさせたい。 各種講話を実施し、豊かな人間性を育成する教育を推進していく。
2 学校教育目標	<p>歴史に培われた伝統に学びながら、21世紀を担う平和で民主的な社会の形成者として、人間愛に満ちた心身共に健全で逞しい工業技術者を育成する。</p> <p>校訓 「至誠剛健」（誠実で心身ともに逞しく）</p>
3 本年度の重点目標	<p>"ものづくり"から"者（ひと）づくり"そして"未来（あす）づくり"</p> <p>ア 深い生徒理解に基づく指導 イ 規律ある高校生活の定着 ウ ものづくり教育の推進 エ 開かれた学校づくりの推進</p>

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				●学力の向上	<p>○わかる授業の実践と学習意欲の向上</p> <p>○資格取得への意欲向上と取得者数の増加を図る。</p>	<p>○普通教科における基礎的な学力を育成し、学びの基礎診断における国・数の平均60点以上。</p> <p>○各資格取得の広報をしっかりと行い、資格試験3か月前には補習計画を立て、100%実践する。</p> <p>○各資格の合格率を前年度以上に目標を設定する。</p>	<p>・学びの基礎診断を利用し、生徒の学力を把握するとともに個々の学力に応じた基礎的な内容や一般常識の学習を授業に取り入れる。</p> <p>・始業前、課後の補習の時間を確保する。</p> <p>・生徒の理解度に合わせた個別指導を行う。</p>
●心の教育	<p>●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</p> <p>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</p> <p>◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動</p>	<p>○「相手を思いやる」や「命の尊さを再認識した」と答える生徒100%を目指す。</p> <p>○学校生活アンケート等を年6回以上実施し、「未然防止」「早期発見」「早期対応」に向けた体制の推進する。</p> <p>○いじめを「しない」「させない」「ゆるさない」心を育成する教育を実施し、いじめのない学校を目指す。</p> <p>○ふるさと佐賀についての理解の深化と、佐賀を愛し誇りに感じる人材を育成し、佐賀を誇りに思う生徒100%を目指す。</p>	<p>・「エイズ予防講話」、「性に関する指導講話」を全学年実施する。</p> <p>・アンケート調査ならびに担任による面談を年3回実施する。また、全職員による登校指導等を行い、未然防止・早期発見につなげる。</p> <p>・全職員による覚知と認知に関わる情報の共有化を図る。</p> <p>・学校周辺の史跡探訪や佐賀の歴史や文化と人物についての講演会等を実施し、佐賀についての理解を深め佐賀に対する誇りと自信を持つ人材を育てる。</p>	B	<p>・生徒たちは熱心に講話に耳を傾けており、内容も理解できた様子うかがえた。今後をもっと当事者意識を持たせる必要がある。</p> <p>・SC講話はアングラーマネジメントについて実践的な内容をお願いし、自分で自分の感情を整える一助にしたい。</p> <p>・アンケート調査ならびに担任による面談、登校指導を実施し、いじめの早期発見・対応の体制を推進している。しかし、アンケートに記入する生徒は少なく、次年度内容を刷新する必要がある。</p> <p>・いじめを認知する事実があれば、対策委員会後に、全職員へ情報共有し、全職員で取り組む体制を推進している。ただ、全職員の共通認識のもと一貫した指導にはいたっていない現状がある。</p>	B	<p>・心の教育をして人格を作り、人への思いやりや慈愛心を養うことで自分の生命の大切さを知ることができる。</p> <p>・生徒のアンケート結果からも、指導が効果的であることがうかがえます。</p> <p>・アンケート用紙に記入し易い工夫が必要ではないでしょうか</p> <p>・アンケートは提出しているが記入が少ないといったことが、いじめにつながると思われないが、生徒とのコミュニケーションをもっと大切にしたい。</p> <p>・定時制の生徒の雰囲気については実感がありませんが、アンケート調査を進めるために、アンケート形式の工夫により回答率を上げるのが第一ではないでしょうか</p>
●健康・体づくり	<p>○「望ましい生活習慣の形成」</p> <p>●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」</p> <p>○教育相談の充実</p>	<p>○給食喫食率80%以上を目指す。</p> <p>●望ましい食習慣を定着させ、「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上。</p> <p>○感染症、食中毒等を防ぐための自己管理能力の育成し、「手洗いは大切である」と答える生徒100%を目指す。</p> <p>○全職員で情報を共有し、SC、SSWとも連携し、組織的・機動的な体制をつくり、悩みのある生徒をSCにつないだ割合100%を目指す。</p>	<p>・食育講話を実施。食に対する重要性を説き、喫食を促す。</p> <p>・給食アンケートを2回実施し、反映する。</p> <p>・グリッターバッグを使った手洗い指導の実施。</p> <p>・担任、副担任と教育相談担当やSCとの連絡を密にし、職員が共通理解を図りながら指導・相談にあたる。</p> <p>・月一回の職員会議において職員が情報を提供し、組織的教育相談の体制を確立する。</p>	B	<p>・手洗いの大切さは十分に周知できた。給食時の手洗いも、しっかりと時間をかけて行うことができている。食中毒等の罹患者、異物混入などの事故なく給食を提供できた。</p> <p>・給食室にアクリル板を設置、さらにテーブルに二人しか着席しないようにし、感染症予防対策を行った。</p> <p>・喫食率が下がっている。給食室に来て、何も食べなかったり、牛乳のみの生徒もいる。</p>	B	<p>・食事摂ることの大切さを生徒には自覚させる必要を感じる。</p> <p>・喫食率が下がっている原因把握のために、アンケート調査の上、ヒアリング調査をしてはどうかでしょうか</p> <p>・食習慣あるいは生活習慣を改善するのは難しいですが、先生方で知恵を絞って改善の糸口をつかむことができれば良いのですが。</p>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<p>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</p>	<p>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(1か月45時間、1年360時間)を遵守する。</p> <p>○出退勤管理システムを活用して長時間勤務の職員を把握し、月80時間以上0を目指す。</p>	<p>・学校閉庁日を設定する。</p> <p>・コミュニケーションを大事にし、それぞれの業務の進捗状況等の情報共有をし、職員間のフォロー体制を強化する。</p>	A	<p>・全職員の4月から12月までの時間外勤務時間の平均9.5時間。上限の45時間以内に収まった。</p> <p>・学校閉庁日、長期休暇中に休暇を取得できた。</p> <p>・業務をさらに見直し、偏り、バランスを是正し働き方改革を継続していく。</p>	B	<p>・さらに働き方改革に則った継続を望む。</p> <p>・日常の業務はまだ多いかと存じますが、可能な限り改善を継続して下さい。</p> <p>・解決が難しい事項については、教育委員会との連携もお考え下さい。</p>
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				○進路指導の充実	<p>○進路希望の実現</p>	<p>○生徒・保護者にとって満足度の高い進路実現(進路決定100%)</p> <p>○進路意識の高揚と職業観・勤労観の育成と定着。年度末生徒アンケートで「身についた」生徒70%以上を目指す。</p>	<p>・生徒の能力・適性・希望に合った進路先の情報提供と適切な指導助言に努める。</p> <p>・在学中の就業率向上と職業講話などを通して職業観・勤労観の育成と定着を図る。</p>
○ものづくり教育推進	<p>○資格取得(実技を伴う)</p>	<p>○資格取得</p> <p>計算技術検定合格率85%以上</p> <p>パソコン利用技術検定合格率70%以上</p> <p>危険物取扱者試験合格率30%以上</p> <p>第2種電気工事士合格率65%以上</p>	<p>・始業前、放課後の補習の実施</p> <p>・遅れ気味の生徒へ個別の対応</p>	B	<p>・資格取得で、合格率は計算技術検定81%、電気工事士67%、パソコン検定64%、危険物40%、製図検定78%と増加は望めなかったが、大きな減少は見られなかった。来年度は、新たに、本年度掲げた目標を到達できるように、指導の充実をはかりたい。</p>	B	<p>・資格取得は個人にとっても将来の就職に役立つので、生徒のやる気の出る策を講じることが必要である。</p> <p>・目標合格率にわずかに到達しなかった資格もありますが、全体としては概ね目標を達成できていると思います。</p> <p>・生徒や保護者の評価も高いので、ご指導をさらに充実させて頂きたく存じます。</p> <p>・個別対応の状況が良く見えないので具体策を講じてほしい。</p>

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> どの評価項目も概ね達成できたと考えられるが、最終評価にあるようにまだまだ改善の余地があり、次年度は計画的に取り組んでいく。 いじめの早期発見のため校内で独自に実施しているアンケートについては、内容を見直し、より生徒の実態がわかるように取り組んでいく。 今年度も、だんだんと喫食率が低下している。職員全体による呼びかけ、食育講話、給食メニューの改善など様々な手立てを講じていきたい。 一人ひとりの生徒に職員全員で関わるといふ定時制の良い面を今後も継続し、生徒の個性・長所を伸ばしていきたい。
----------------	---